

# 要望しています

～笠岡市の未来のために～

平成30年度  
当初予算  
要望事項



ただ要望するだけでなく進捗状況も確認しています

3月定例会では、笠岡市の平成30年度一般会計等の予算の審査を行いました。一般会計の予算審査で一部反対がありましたが、9つの要望と附帯決議（P2参照）を付けて可決することとなりました。要望を市がどう取り扱っているのかは、進捗状況として定例会ごとに市から報告をしてもらいチェックしています。

## メンタル不調の未然防止を

業務のアウトソーシングを含め、権限移譲等で増加した業務の見直しを行い、業務量に見合った職員定数の適正化を図っていくこと。また、ストレスチェック実施後のアフターケアを行い、メンタル不調の未然防止に努めること。

## 技術継承の人材育成を

水道事業において、職員の減少に伴って人材育成を行う余裕が次第になくなりつつあるため、技術の継承を確実にを行い人材育成に努めること。

## 実態を踏まえた予算編成を

毎年度実施している事業については、これまでの事業の結果や経過を十分に踏まえ予算を編成すること。特に補助金については、実際の事業の内容・成果を詳細に把握し、丸投げとまらないよう留意されたい。

## 感動を与える景観作物を

景観作物の栽培について圃場整備・管理を行い、来場者に感動を与えること。また、無料循環バスの利用促進を図ること。

## 病院事業の新改革プランのロードマップ作成を

笠岡市立市民病院改革プランの経営の目標達成に向けた具体的な取組みの20項目について、着実に実施し、成果を上げるためのロードマップを作成し、定期的に進捗状況の報告をすること。

## 臭気の種類な対策検討を

笠岡湾干拓地内の臭気対策について、今年度は脱臭剤等の効果を確認し畜産環境の改善を図るが、様々な方法を検討して臭気対策を図ること。

## 既存事業と調和した地域包括ケアの推進を

今後、地域包括ケアの推進で生活支援体制の整備をするにあたり、社会福祉協議会など様々な団体に事業を委託する際、同種の内容を実施するにも関わらず、補助額など条件が異なることで、不公平感が生じないように努めること。

## 有益な下水道サービスに

公営企業に移行するにあたり、独立採算制の原則により、経営状況や財政状態をより明確にし、経営の効率化・健全化を図ること。

## 健康づくり事業の参加促進を

それぞれの事業が参加者の広がりや苦慮する中で、次世代の負担が軽減されることをアピールしたり、地域ごとに表彰し意識を高めるなど、参加促進に向けた取り組みをするよう努めること。